

## シンポジウム 1

## B 型肝炎治療の現状と新たな治療戦略

第 2 日 12 月 13 日 (金) 8:30~11:00

第 2 会場 (海峡メッセ下関 10F 国際会議場)

司会 日野 啓輔 川崎医科大学肝胆膵内科学  
 田中 靖人 名古屋市立大学大学院医学研究科病態医科学講座

- SY1-1 末梢血単核球を用いた B 型肝炎における抗 HBs 抗体産生能の検討  
 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 福富 啓祐
- SY1-2 B 型肝炎患者における HBsAg 量の推移と肝発癌との関連の検討  
 国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター/肝臓内科 山崎 一美
- SY1-3 HBV マーカーでの層別化による抗ウイルス療法未治療 B 型肝炎患者における肝発癌予測と、核酸アナログ製剤による肝癌抑制効果  
 虎の門病院肝臓センター 保坂 哲也
- SY1-4 血清 AKR1B10 値を用いた各核酸アナログ投与別の HBV 関連肝発癌の予測  
 金沢大学附属病院消化器内科 織田 典明
- SY1-5 B 型肝炎患者に対するエンテカビルとテノホビルの肝発癌抑制効果：アジア・太平洋地域における比較検討 (REAL-B Consortium)  
 大垣市民病院消化器内科 豊田 秀徳
- SY1-6 B 型肝炎非代償性肝硬変の核酸アナログ治療—非使用例との比較—  
 大垣市民病院消化器内科 三宅 望
- SY1-7 B 型肝炎患者における Sequential 療法後の核酸アナログ製剤再投与症例に関する検討  
 兵庫医科大学病院肝・胆・膵内科 長谷川国大
- SY1-8 B 型肝炎患者における核酸アナログ製剤投与例における HBs 抗原低下を目指した Peg-IFN の投与の工夫  
 川崎医科大学総合内科学 2 教室 川中 美和
- SY1-9 B 型肝炎患者に対する TAF の有効性・安全性と TAF 無効例における耐性変異の経時変化  
 大阪市立大学大学院肝胆膵病態内科学 榎本 大
- SY1-10 エンテカビル長期内服からテノホビルへの切り替えによる治療効果  
 武蔵野赤十字病院消化器科 玉城 信治
- SY1-11 核酸アナログ長期投与による HBs 抗原変化と TAF による初期治療成績の検討  
 横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター 中馬 誠
- SY1-12 当院における核酸アナログ製剤による腎機能への影響と ADV/TDF から TAF 切り替え後の腎・尿細管機能およびリン代謝の評価  
 久留米大学病院内科学講座消化器内科部門 佐野 有哉

- SY1-13 胆汁酸誘導体による in vivo および in vitro における抗 HBV 作用の解明  
愛知医科大学肝胆膵内科 奥村 彰規
- SY1-14 核酸アナログ治療中の B 型慢性肝炎患者における経鼻治療ワクチン (NASVAC) による HBs 抗原低下効果  
愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学 吉田 理